

2015.9.27 聖別会

IMMANUEL

インマヌエル
中目黒キリスト教会
聖別会マンスリー



2015年

< 聖化の豊かさを味わう > 「聖化の説教」

「逆境に輝く信仰 ルツの物語」

日本イエス高松新生教会・小野淳子牧師

「信仰がなくては、神に喜ばれることはできません。神に近づく者は、神がおられることと、神を求める者には報いてくださる方であることを、信じなければならないのです。」(ヘブル 11:6)

A. 信仰の感化

ルツ記の根底には、ルツの素晴らしい信仰を導いたナオミの信仰がある(ルツ記は「ナオミ」記)

ナオミの通過した逆境とは：

1. ベツレヘムからモアブへ移転(飢饉のため)
2. 夫との死別
3. モアブ女性を「嫁」に迎える
4. 息子達の死
 - ・ こうした悲劇を通して、ナオミは「家長代理」となり、未信者の家族の信仰を導いた
 - ・ ルツは、信仰によってナオミと結びついた

B . 信仰の報酬

- ・ ナオミは、苦境も含め神の御業を見ていた
- ・ ルツが「はからずも」ボアズの畑に導かれたのも神の御手によった
- ・ 登場人物が互いを思いやる心を持っていたことがルツ記の麗しさの秘密である(ナオミ ルツ、ルツ ナオミ、ボアズ ルツとナオミ)

1 . 「贖い」(買戻し)に見る報酬

- ・ ボアズの「買戻し」権行使を求めて、ルツは大胆な行動を(ナオミの指示に従って)行った
- ・ ボアズは、法的手順をきちんと踏んで、買戻し権を行使した
- ・ ボアズは、真の贖い主キリストの型である

2 . ナオミへの報酬

- ・ 「ナオミに子が生まれた！」: ルツが生んだ子は、法的にはナオミの子であった
- ・ 子の誕生は、神が見捨てなさらなかった証拠
- ・ 子の名前は「オベデ」(仕える者): ナオミを世話し、支える者となるべきであった

3 . ルツへの報酬

- ・ 信仰によって結ばれた嫁姑関係の美しさ
- ・ 律法では仲間外れにされていたモアブ人でありながら、約束の民に加えられた
- ・ そして、王家とメシヤの祖先となった

おわりに :

どんな逆境にあっても、「持つべきは信仰」、「保つべきは信仰」である